

「世田谷区子ども計画（第2期）後期計画」進行状況一覧

大項目	中項目	小項目	令和2年度計画	令和2年度実績
1 子育て家庭への支援	1-(1) 身近なつどい 気軽な相談の場の充実	子育て中の親子の身近なつどい・気軽な相談の場の充実	おでかけひろばの整備 4か所増(計68か所) 区立保育園の子育て支援事業の見直し・充実 利用者支援事業(基本型)(6か所)の充実 児童館の相談支援機能強化 ひろばスタッフ、児童館職員への研修	3か所増(計67か所) 47圏で地域交流事業を新型コロナウイルス感染症対策をとり、一部制限しながら実施 利用者支援事業(基本型)(6か所)の充実 全25児童館での相談支援機能強化 ひろばスタッフへの初任者研修等11回実施 児童館職員への研修9回実施
		就学後の子どもを育てる保護者が気軽に相談できる場や機会の充実	児童館での相談対応 新BOPでの相談 家庭教育学級の支援	全25児童館で相談対応実施(6,597件) 新BOP(61校)で個人面談を活用し場を設定 37回開催 2,322人参加
		児童館を拠点とした地区における見守りのネットワークの強化	地域懇談会等、見守り等のネットワーク強化に向けた取組み 地域との連携強化のためのアウトリーチの促進 地区の三者との情報共有・連携の仕組みづくり 子ども家庭支援センターと連携した支援スキームの構築	地域懇談会の実施(3館、10回) 全25児童館で地域との連携強化のためのアウトリーチの促進について検討開始 全25児童館で地区の三者との情報共有・連携の仕組みづくりに向けた取組みを実施 全25児童館で子ども家庭支援センターと連携した支援スキームの構築に向けた取組みを実施
	1-(2) 身近な地区における相談支援・見守りのネットワークの強化	児童館の機能強化	ソーシャルワーク力向上のための研修の体系化 地域子育て支援コーディネーター、社会福祉協議会と連携した地域資源開発	研修実施(6回、延べ204名参加) 全25児童館で地域子育て支援コーディネーター、社会福祉協議会と連携した地域資源開発への取組みを実施
		児童館の再整備	未整備地区(8地区)における計画的な整備の検討 整備完了までの間の支援体制の検討・実施 重複地区(5地区)における児童館機能の再整備の検討	未整備地区における整備候補地等を検討 整備完了までの間の支援体制を検討 重複地区における児童館機能の再整備を検討
		相談支援の充実	ニューボラ・チームと地域子育て支援COの連携強化 ニューボラ・チームとひろば等地域資源の連携強化 コロナ禍におけるニューボラチームと産科医療機関との連携方法について検討 ニューボラチームと児童相談所との連携	地域子育て支援コーディネーターとの情報交換会 4回開催 せたがや子育て利用券への地域の子育て活動団体等の登録数 25事業者増 コロナ禍で医療機関への訪問が難しかったため、訪問から電話に方法を変えた、電話回数25回 母子保健システムの情報の一部閲覧権限を児童相談所に付与するなど、ニューボラチームと児童相談所との連携を強化した。
	1-(3) 妊娠前から地域につながる取組の推進 ～世田谷版ニューボラの推進～	支援につながる仕組みの充実	母子保健システムの活用による支援情報の一元管理 他の相談支援システム間での情報照会の仕組みづくり 子育て利用券の転入家庭等への確実な配付	母子保健システムの活用による支援情報の一元管理 他の相談支援システム間での情報照会の仕組みづくり 転入家庭等への配布を確実にする方策として、令和2年度より有効期限を、「配布月(妊娠中)から2年間」から「お子様が2歳になる誕生日まで」へ変更。 妊娠中だけでなく出産後も、乳幼児健診等複数の場面で周知が可能となったため、転入者への周知もより確実になった。 令和2年度 配布実績 9,741件 各おでかけひろばにおける妊婦向けのイベント実施 11施設、43回開催、延べ84名参加
			妊娠前からおでかけひろば等につながる仕組みづくり 情報が届きにくい家庭への周知の充実 さんさんプラスサポートの実施 多胎児家庭への支援の検討	転入家庭、外国ルーツ家庭への周知の検討 実績227件 多胎児家庭への支援の検討
			地域で子育てを支える環境づくり	世田谷版WEラプ赤ちゃんプロジェクトの実施 乳幼児触れ合い体験事業の実施 子育て利用券事業への地域の活動団体の参加促進
		1-(4) 子どもと親のこころと体の健康づくり	子どもと親のこころと体の健康づくり	コロナ禍における 妊娠前接方法の検討と継続 妊娠前接の地域連携体制方法の検討(母親学級・両親学級) 専門職による乳児家庭訪問の方法の検討 乳児健診前の親子グループ実施方法の検討 乳幼児健診の受診率の維持と未受診者への支援
思春期のこころと体の健康づくり			区立中学校生徒を対象とした「こころと体を知る」出前講座 たばこ・アルコール対策・薬物乱用の予防 思春期講演会の計画的実施	出前講座の実施(実施回数2回、延べ324人) 薬物乱用防止ポスター・標語の募集の実施(応募ポスター178点、標語290点)・アルコール・薬物等の健康教育(学校)未実施・区HP等による、依存症チェック等の情報提供 新型コロナウイルス感染症の影響により、区HPによるチェックリスト
1-(5) 子育て力発揮への支援	食育の推進	新しい生活様式における子どもの成長・育に合った食生活支援の検討と実施 新しい生活様式における望ましい食習慣の定着に向けた情報提供の検討と実施 地域連携における食の大切さの普及啓発の実施	乳幼児健診における食生活支援(417回実施) 離乳食動画配信及びオンラインによる離乳食講習会(6回)の実施 育児支援事業における食生活支援(21回実施) 妊娠前における食生活支援 区HPでの情報提供の実施 給食施設(666施設)を通じた普及啓発の実施	
	歯と口の健康づくり	産前・産後歯科検診 1歳6か月児、2歳6か月児、3歳児歯科健診、幼稚園・保育園歯科健診 すくすく歯科相談 児童館等と連携した健康教室	産前1,685人 産後1,016人 受信者数4,554人、受信者数3,563人、受信者数5,976人、受信者数21,264人 実施回数128回、受診者数1,693人 実施回数6回、実施人数99人	
	親の学びの支援	児童館子育て講座、児童館子育て懇談会の取り組み PTA活動への支援 おでかけひろば、子育てひろば等での情報発信 親子サークルの実施 児童館での父親の育児参加事業の充実 発達支援親子グループ事業の実施	全25児童館で子育て講座を実施(286回) 各PTA研修会等の実施(幼稚園3回) 小・中学校は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 おでかけひろば、子育てひろば等での子育て情報の発信 全25児童館で1親子サークル以上実施(延べ621回 7,850名参加) 全25児童館で父親参加事業の実施(父親向け子育て講座 16回実施) 発達支援親子グループ事業の実施年間7グループ34組	
2-(1) 子育て家庭のニーズに沿った教育・保育の受け皿確保	子育て家庭のニーズに沿った教育・保育施設の整備	ほっとステイ事業の拡充(計16か所、うち新規2か所) 保育所一時保育のあり方検討 ファミリー・サポート・センター事業の充実 赤ちゃんショートステイ、子どものショートステイの充実 ワークスペースひろば型事業の拡充(計5か所、うち新規1か所) 児童館等による親子支援プログラムの実施への取り組み	ほっとステイ事業の拡充(計16か所、うち新規2か所) 保育所一時保育のあり方検討 ファミリー・サポート・センター実活動援助会員数353人 利用日数16日、利用日数670日 ワークスペースひろば型事業の拡充(計5か所うち新規1か所) 全25児童館で親子支援プログラムの実施(195回)	
		私立認可保育園、小規模保育事業等の整備 認可外保育施設の認可保育園施設、認証保育所への移行支援 区立幼稚園の用途転換に向けた取組(改築基本設計準備) 預かり保育の実施や認定こども園への移行を希望する私立幼稚園に対する支援 認定こども園のあり方等に向けた検討	10か所、1か所 5施設 幼稚園、幼稚園の改築事業に係る事業者選定公募型プロポーザルの実施 預かり保育の新規実施 2園(実施園合計37園) 認定こども園のあり方等の庁内勉強会の実施	

「世田谷区子ども計画（第2期）後期計画」進行状況一覧

大項目	中項目	小項目	令和2年度計画	令和2年度実績
2 教育・保育の充実	2-(1) 子育て家庭のニーズに沿った教育・保育の受け皿確保	子育て家庭のニーズに沿った多様な保育の推進	延長保育事業の拡充	延長保育事業の拡充(20園増、合計153園)
			休日保育の拡充	休日保育の実施(合計6園)
			夜間帯の保育の検討	夜間帯の保育の検討
			保育園等における一時預かりの拡充	保育園等における一時預かりの拡充(1園減、合計100園)
			私立幼稚園預かり保育への区独自補助(7園)	私立幼稚園預かり保育への区独自補助(7園)
		災害時や緊急時におけるセーフティネットの構築	区立保育園防災マニュアルの改訂と私立園への提供	区立保育園防災マニュアルの改訂と私立園への提供
			まちづくりセンター、総合支所、地域との連携強化	新型コロナウイルス感染症対策のため進展なし
			他の保育施設で保育が困難になった際の支援	新型コロナウイルス感染症休園私立園を区立園が支援
			緊急保育の定員拡充	区立保育園13園で1名から2名に拡充(総定員数60名)
			緊急保育の時間延長	緊急保育の時間延長(継続実施)
	2-(2) 教育・保育の質の向上	教育・保育の質を支える仕組みの構築	各保育施設への巡回指導・支援相談の実施及び検証	516回(電話巡回含む)
			地区内における保育施設への支援体制の強化(区立保育園サポーター園)	区立保育園5園をサポーター園に設置
			各保育施設への指導・監督体制の強化および検証・見直し	認可保育所(区立28件、私立46件)、小規模保育事業(5件)、認定こども園(2件)に指導検査実施
			保育施設間ネットワークの活動強化	認可外保育施設等への保育ネットの呼びかけ、先進事例や問題解決の共有を行った。
			各保育施設への立入調査の実施及び改善状況の進捗管理	一般立入調査87件、特別立入調査2件、基準を満たす旨の証明書交付22件
		乳幼児期の教育・保育の充実	各保育施設(私立幼稚園)への指揮・監督の実施および検証	私立52園
			3年に1回の第三者評価受審の推奨と公表	公立16園
			保育の質ガイドラインを活用しての保育実践	日々の保育のふり返り、園内研修を実施し、活用(区立保育園は全園、私立保育園は88%(研修アンケートにより把握)で活用)
			大学との共同研究	東洋大学との児童福祉「当事者主体の保育」について協同研究4.7園 人材育成研修の中で、洗足こども短期大学と実習生の受け入れ研修モデル園1園実施
			乳幼児教育支援センター機能の整備に向けた検討・準備	乳幼児教育支援センター機能を包含する世田谷区立教育総合センター運営計画の策定
3 支援が必要な子ども・子育て家庭のサポート	3-(1) 要保護児童・養育困難家庭への重層的支援	地域支援体制の構築	幼稚園・保育園各1園で文化・芸術体験を実施	幼稚園・保育園各1園で文化・芸術体験を実施
			幼保合同研修の検討・実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
			幼児教育・保育情報連絡会の運営・再編	幼児教育・保育情報連絡会の開催 2回(6月・9月) 乳幼児期の教育・保育のあり方検討委員会の開催 3回(12月・1月・3月)
			アプローチ・スタートカリキュラムの実施	保育園 47園、幼稚園 8園、小学校 61校
			乳幼児教育アドバイザー派遣	2回
	要保護児童・養育困難家庭の早期支援の充実	子どもの命と権利を守るセーフティネットの整備	保育人材情報等ポータルサイトの運営	保育人材情報等ポータルサイトの運営
			合同就職相談会	合同就職説明会(1回)
			保育士の宿舎借り上げ支援	保育士の宿舎借り上げ支援
			保育士等処遇改善助成金	保育士等処遇改善助成金
			私立幼稚園教諭の人材確保支援に向けた検討	私立幼稚園教諭の人材確保支援に向けた検討
要保護児童・養育困難家庭の早期支援の充実	地域支援体制の構築	在宅有資格者向け研修	社会福祉協議会主催の「子育てサポート養成研修」に研修講師として参加実施(副園長4名・栄養士1名派遣)	
		私立幼稚園研修助成(59園)	私立幼稚園研修助成(59園)	
		体系的なキャリア形成による保育の実践	リスクマネジメント研修(公立47園)、ミドル研修(1年次公立13園・私立33園、2年次公立11園・私立27園)の実施	
		きてみて保育の充実	区立園全園 コロナ禍のため状況に応じて実施、私立園23園で実施	
		保育人材の養成・育成に関する養成校と保育現場の協力体制の構築	実習から見る人材育成研修実施(実践5園)	
要保護児童・養育困難家庭の早期支援の充実	子どもの命と権利を守るセーフティネットの整備	入園及び子育て支援制度に関する説明「保育園最初の一步」の動画配信を実施	「保育園最初の一步」の動画を10月上旬から2月上旬まで配信 入園申込みにおけるAIチャットボットの実証実験を10月上旬から12月下旬まで実施	
		入園申込におけるチャットボットの導入		
		ソーシャルワーク機能の充実	大学との協働研究を月1回実施及び全園にて児童福祉研修の実施	
		指定園における医療的ケアが必要な子どもの受入れ(4園)	区立指定園4園にて受け入れ実施	
		おでかけひろば事業の実施	区立保育園直営おでかけひろばの整備1か所増(計3か所)	
要保護児童・養育困難家庭の早期支援の充実	子どもの命と権利を守るセーフティネットの整備	災害時の応急保育の体制整備	災害時の応急保育・代替保育の基本方針検討	
		児童館を中核とした見守りネットワークとの連携	児童館を中核とした見守りネットワークとの連携構築に向けた取組みを実施	
		児童館を中心とした地域の子育て団体、利用者支援事業との連携	児童館を中心とした地域の子育て団体、利用者支援事業との連携構築に向けた取組みを実施	
		産後ケア事業の充実	ショートステイ 2,809日 デイケア 728日	
		養育支援等ホームヘルパー訪問事業	派遣時間13,450時間	
要保護児童・養育困難家庭の早期支援の充実	子どもの命と権利を守るセーフティネットの整備	ひとり親ヘルパー訪問	派遣時間1,767時間	
		要支援家庭を対象としたショートステイの充実	利用日数96日	
		さんさんプラスサポート	227件	
		学生ボランティア派遣	派遣回数140回	
		児相・子家セン 新任研修、中級(現任・専門)研修、係長・SV研修	実施日数4日、実施回数1.5日、実施日数0.5日	
要保護児童・養育困難家庭の早期支援の充実	子どもの命と権利を守るセーフティネットの整備	要保護児童支援地域協議会 全区協議会、地域協議会、個別ケース検討会議、進行管理委員会	実施回数2回、実施回数6回、実施回数185回、実施回数4回	
		未就園児等支援につながっていない子どもの把握	乳幼児健診未受診者、未就学児、不就学児等の状況確認として実施	
		地域関係機関への児童虐待予防基礎講座	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施を見送った。	
		地域関係機関への講師派遣・出前講座	実施回数32回	
		子どもの虐待防止推進講演会	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施を見送った。代替として、児童虐待防止及び区児童相談所周知用の動画を作成した。	
要保護児童・養育困難家庭の早期支援の充実	子どもの命と権利を守るセーフティネットの整備	児童相談所と子ども家庭支援センターの理念の共有と共通認識の醸成に向けた共同研修の実施	共同研修の実施18回	
		児童相談所と子ども家庭支援センターのケース対応ルールの明確化	ケース対応ルールに係るマニュアルの策定、運用実施	
		児童相談所と子ども家庭支援センターの一貫したアセスメントに基づく支援の実施	児童相談所と子ども家庭支援センターの共通アセスメントシートの作成、運用実施	
		児童相談所と子ども家庭支援センターの合同会議の実施	合同会議実施54回	
		担当の児童福祉司による子どもの意見を酌み取る方策の実施	措置や一時保護の際、権利擁護機関の連絡先の入った「子ども権利ノート」等を渡している。一時保護所第三者委員による保護された子どもに対して聴き取りを行っている。	
要保護児童・養育困難家庭の早期支援の充実	子どもの命と権利を守るセーフティネットの整備	一時保護所第三者委員による子どもの意見聴取の実施	受けた相談件数 38件(延べ14人)	
		里親新規開拓のためのチラシ・パンフレット等の広報物の配布	パネル展の実施	
		養育家庭体験発表会の実施	発表会は実施せず、代替として里親制度に関する普及啓発動画作成	
		里親勉強会の実施	里親カフェの実施(2回)	
		里親支援事業の実施	フォスターリング事業の実施、里親支援事業の実施、情報提供事業の実施、新生児委託推進事業の実施	

「世田谷区子ども計画（第2期）後期計画」進行状況一覧

大項目	中項目	小項目	令和2年度計画	令和2年度実績	
3 支援が必要な子ども・子育て家庭のサポート	3-(2) 配慮が必要な子どもの支援	配慮が必要な子どもの早期支援の充実	コロナ禍における1歳6か月児健診後のフォローグループの実施および実施方法について検討 ピアサポートプログラム「みつけばルーム」の実施	コロナ禍でも継続できる方法を検討し、グループ人数を制限し継続実施(30回68組) 延べ1,003件	
		日常を過ごす場や地域で安心して過ごせる支援の充実	障害理解促進のための講演会・シンポジウムの開催 「げんき」巡回支援、発達障害研修 私立幼稚園特別支援教育事業費補助金(120人) 放課後等デイサービスの拡充	講演会1回82名参加、ミニ講演会4回延べ52名参加 167回実施、保育所等職員研修12回延べ145名参加 私立幼稚園特別支援教育事業費補助金(94人) 新規開設2施設(計36施設)	
		途切れのない支援の実施	スマイルブック 配布、講習会の開催 就学支援シート等の活用	115件、4回(延べ48名参加) 就学支援シート等の活用	
		医療的ケアが必要な子どもへの支援	医療的ケア連絡協議会 相談支援従事者の育成支援 医療的ケア児を受け入れる障害児通所施設への助成	協議会年2回、小委員会年1回実施 相談支援従事者1名育成支援 5施設助成	
	3-(3) 生活困難を抱える子どもの支援 ～子どもの貧困対策の推進～	教育の支援	せたがやセミナーの実施 地域における新規の学習支援事業の実施 高校中退防止に向けた支援 就学援助制度の利用促進 ICTを活用した学習支援環境整備補助事業 被保護者自立促進事業(学習環境整備支援費等)	実利用者数延べ276名 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、子どもの学び場実施見送り メルクマールせたがや、ティーンズサポート事業 不登校・ひきこもり支援部会等による連携強化 全員提出方式に変更し提出数を向上させた。 ICTを活用した学習支援環境整備補助事業 経費支給184件(実人数)	
		生活の安定に資するための支援	学習・生活支援の拠点事業の検討 児童養護施設等退所者に対する給付型奨学金 住宅支援 居場所支援・地域交流支援 区内児童福祉施設での栄養管理・食育の推進についての助言・支援継続	実施決定 給付者数10名(延べ) 給付額1,608,306円 3住戸に3名入居 参加者数164名(うち退所者数68名) 延275件	
		保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援	生活困窮者就労準備支援事業の実施 生活困窮者自立相談支援事業の実施 三茶おしごとカフェと連携した就労支援講座	延べ18名を対象に就労準備支援を実施 新規に58名について支援プランを策定 就労支援講座130回実施	
		経済的負担の軽減のための支援	養育費相談会等の実施 生活困窮支援サービス周知用冊子の作成	相談会実施回数7回 生活困窮支援サービス周知用冊子の作成	
		支援につながる仕組みづくり	各種支援サービスの周知方法、申請内容・方法等の見直し 気づきのシートの活用 子どもへの食の支援事業実施 研修会等の実施	各種支援サービスの周知方法、申請内容・方法等の見直し 配布箇所483 子どもへの食の支援事業実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施見送り	
			ひとり親世帯家賃低廉化補助事業の実施 区内母子生活支援施設情報交換会・母子生活支援施設ガイドライン等検討 緊急一時保護、母子一体型ショートケア事業 シママカフェ・シングルマザーのためのグループ相談会の実施 区民企画協同事業の活用等、情報提供・交流事業の検討 母子・父子への貸付	3件 施設連絡会4回実施 区立あり方検討会2回実施 アドバイザー会議2回実施 緊急一時保護13件 母子一体型ショート4件 5回 延13人 事業見直しにより中止 母子及び父子福祉応急小口資金 3件 東京都母子及び父子福祉資金 246件	
			ひとり親家庭への情報提供 メールマガジン、リーフレット、ひとり親支援ナビ(区民版)の配布 家庭相談、母子・父子相談、女性相談 当事者主体の相談支援研修 ひとり親家庭に対する相談窓口体制の強化の検討 養育費相談会	メールマガジンの配信、1,022ヶ所配布、 児童育成手当現況届に同封、関係機関826ヶ所配布 家庭相談、母子・父子相談、女性相談 相談件数7,688件(5支所合計) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施見送り ひとり親家庭に対する相談窓口体制の強化の検討 実施回数7回	
			ひとり親家庭等の子どもの生活安定に向けた支援の充実 母子家庭自立支援教育訓練給付事業 母子家庭高等技能訓練促進費等事業 自立支援プログラム らぶらすでの就労支援講座の再検討	生徒登録合計数83名 貸付決定394件 11件 27件 自立支援プログラム 8件 3回 延111人	
	3-(5) 悩みや困難を抱える子ども、家庭に課題を抱える子どもの支援	ニーズに応じた相談機能の充実	子ども・子育てテレフォンの実施 思春期こころの健康相談の実施 世田谷区パートナーシップ宣言の取組み(24回) 当事者に届く媒体を用いた情報発信、周知・啓発 子ども・若者に身近な大人への周知啓発、気付きの促進	子育て相談 798件 子ども相談 83件 68回 延130人 28回 普及啓発ちらしの配布 支援者向け個別講座の開催(2回)	
		子どもの居場所の拠点整備	区内大学とのネットワークの強化	区内大学に大学連携事業内容について提案	
	4 質の高い学校教育の充実	4-(1) 地域との連携・協働による教育	地域が参画する学校づくり	学校支援地域本部の実施校拡大 「学校評価システム」マネジメントスタンダードを踏まえた学校評価の改訂版試行	学校支援地域本部の実施校を12校拡大により、全校導入完了 「学校評価システム」マネジメントスタンダードを踏まえた学校評価の改訂版試行
			地域コミュニティの核となる学校づくり	学校施設の活用 総合型地域スポーツ・文化クラブの拡充及び活動支援	学校施設開放の実施 総合型地域スポーツ・文化クラブの拡充及び活動支援
			地域教育力の活用	地域の人材活用のための仕組みによる教育活動の充実	学校支援地域本部の全校導入の進行
		4-(2) 「せたがや11+」幼、小・中連携で実現する質の高い教育の推進	豊かな人間性の育成	人権教育の推進のための、人権尊重教育推進校の取組み 道徳教育の充実のための、研修の実施 指導資料等の作成 移動教室及び夏・冬季施設取組み	人権教育の推進のための、人権尊重教育推進校3校で取組の実施 研修の実施 指導資料等の配布 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止
豊かな知力の育成			「世田谷区教育要領」小学校改訂・実施 学習習得確認調査の実施及び調査結果の活用 「土曜講習会」等基礎・基本などをはくむ取組みの推進	「世田谷区教育要領」小学校実施 学習習得確認調査の実施及び調査結果の活用 「土曜講習会」等基礎・基本などをはくむ取組みを中学校全29校で実施	
健やかな身体・たくましい心の育成			「体力向上・健康推進に関する研究・検証」開始 せたがや食育メニューの普及・啓発 部活動支援員制度の充実	「体力向上・健康推進に関する研究・検証」開始 せたがや食育メニューの普及・啓発 部活動支援員向けに映像による研修を実施	
ことばの力の育成	教科「日本語」(改訂版)実施 小学校「外国語」の教科化等実施	教科「日本語」(改訂版)実施 小学校「外国語」の教科化等実施			

「世田谷区子ども計画（第2期）後期計画」進行状況一覧

大項目	中項目	小項目	令和2年度計画	令和2年度実績
4 質の高い学校教育の充実	4-(2) 「せたがや11+」幼、小・中連携で実現する質の高い教育の推進	これからの社会を生きる力の育成	国際理解教育の充実 中学生への学習ソフトウェアによる自宅学習(e-ラーニング)支援等の実施	国際理解教育の実施 小・中学生への学習ソフトウェアによる自宅学習(e-ラーニング)支援等の実施
		よりよい学びを実現する教育環境の整備	学校増改築の推進 改築の機会をとらえた省エネルギー機器の導入等による環境に配慮した学校整備 省エネルギー機器の導入等による環境に配慮した学校整備	増築3校竣工(芦花小、希望丘小、塚戸小新BOP棟)
		学校教育を支える安全の推進	通学路の合同点検の実施 登下校区域防犯カメラの設置 小・中学校通学路等の警備、パトロールの実施 学校と警察で連携した防犯訓練の実施 新たな緊急連絡メールシステムの構築・運用	通学路の合同点検の実施 登下校区域防犯カメラの設置 小・中学校通学路等の警備、パトロールの実施 区立小・中学校全校(小61校、中29校) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施せず 新たな緊急連絡メールシステムの構築・運用
		才能や個性をくむ体験型教育の推進	新・才能の芽を育てる体験学習の充実 外遊びの推奨及び小学校の遊び場開放の充実に向けた取組み	新・才能の芽を育てる体験学習の実施(総参加人数 181人) 小学校遊び場開放を56校で実施
	4-(3) 多様な個性がいかされる教育の推進	特別支援教育の充実	特別支援教育コーディネーター機能の充実 検討を踏まえた学校包括支援員の適切な配置、支援の充実 検討を踏まえた非常勤講師(教科の補充)の適切な配置、支援の充実 特別支援学級支援員の配置 地域ボランティア制度の取組み	特別支援教育コーディネーターの活動環境整備、活用校数45校 学校規模等に応じた学校包括支援員の配置 児童・生徒数や状態等に応じた非常勤講師(教科の補充)の配置 小学校17校、中学校8校に特別支援学級支援員42人を配置を配置 大学生ボランティア事業を実施
			小・中学校「特別支援教室」の巡回指導体制の充実 自閉症・情緒障害特別支援学級(固定級)の開設 タブレット型情報端末の整備・運用 障害者理解教育のためのリーフレットの作成・配布	小・中学校「特別支援教室」拠点校の増設準備(小学校5校・中学校1校) 自閉症・情緒障害特別支援学級(小学校2校・中学校1校)の開設準備 タブレット型情報端末の整備・運用 リーフレットの配布
			ほっとスクール「希望丘」の民間による運営 不登校等への取り組みとして、多様なプログラムの開発・実施 学校内外の教育相談体制の充実(心理教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置検討) 的確な研修・スーパーバイズの実施	ほっとスクール「希望丘」の民間による運営 不登校等への取り組みとして、多様なプログラムの開発・実施 体制充実の検討 計78回実施
		ニーズに応じた相談機能の充実	新BOP学童クラブ事業の充実 子どもの成長に応じた支援や、新BOPのあり方についての検討 児童館事業の充実 児童館ティーンズタイムの充実 児童館中高生支援館の時間延長	新BOP学童クラブ事業の充実 抜本的な新BOP事業のあり方や、子どもの放課後の過ごし方について検討し、報告書をまとめた 児童館事業の充実 各児童館ティーンズタイムを規模縮小にて実施(ティーンズルームの設定、時間を設定しての実施など) 5地域に1館中高生支援館設置 時間延長実施
			公園緑地の整備 砧地域プレパークの設置に向けた協働事業(45回) ブレーカー、プレーリヤカーの充実 きぬたまあそび村の充実 外遊び推進員による外遊び推進事業の実施 外遊び全区・地区ネットワークの推進	公園新設1箇所 計約91㎡ 公園拡張2箇所 計約799㎡ 45回 ブレーカー、プレーリヤカーの充実 20か所211回実施 きぬたまあそび村の充実 143回 出張12回実施 外遊び推進員による外遊び推進事業の実施 児童館6館への遊びマップ調査、団体への啓発事業の実施 外遊び全区・地区ネットワーク会議 3月に実施
			文化・芸術にふれられる機会の充実 ホストタウン事業(スポーツ、文化等)による区民とアメリカ関係者との交流	美術館鑑賞教室の実施 小学校24校、中学校3校 演劇ワークショップの実施61回 ホストタウン事業(スポーツ、文化等)による区民とアメリカ関係者との交流(1回)
5 子どもたちの成長と活動の支援	5-(1) 子どもが安心して過ごせる居場所・成長できる場・機会の充実	親子でスポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実 基礎的運動能力と体力向上事業の充実	親子でスポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実(世田谷246スポーツフェスティバルの実施など) 基礎的運動能力と体力向上事業の充実(第10回世田谷子ども駅伝大会の実施など)	
		おはなし会、出張おはなし会の充実 区立図書館と学校図書館の連携 子ども読書リーダーの育成・活用	おはなし会等計447回、出張おはなし会13回開催 調べ学習支援貸出計13,556冊、学級文庫37,528冊貸出 子ども読書リーダー講座開催及び図書館事業等への参加(23回延べ89人)	
		子どもの成長を支える職員等のスキル向上と地域の子育て力の向上 青少年委員会研修会の実施 児童館地域懇談会、中高生支援者懇談会、5地域中高生支援者懇談会の開催 青少年地区委員会合同研修会	委員の資質向上等の研修を実施(8回) 実施館で計10回開催、実施館で計10回開催、実施館で計3回開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
		子どもが主体的に活動できる場・機会の充実と支え手の確保・育成 ティーンズプロジェクトの充実 子ども夢プロジェクト ティーンエイジャーニバル事業開催	ティーンズプロジェクトを規模縮小にて実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	5-(2) 子どもの地域・社会への参加・参画の機会の充実	子どもが意見を表明しやすい環境づくりと関わる大人の意識の醸成 運営における環境づくり 児童館、新BOP 職員の意識醸成 児童館、新BOP	日常運営や行事を通して、子どもからの意見・声を取り入れた行事や遊び等で、子どもの意見を取り入れた 研修等を通じて意識醸成を行った 研修や日々のミーティングで意識醸成を心がけた	
		6-(1) 地域の子育て力の向上	子どもの育ちを見守り支える気運醸成と地域人材の確保 世田谷子育てメッセ 子ども基金の活用 児童館地域サポーター発掘事業	参加者1,310名、参加団体50団体 助成額5,387,880円 助成件数20件 新規登録者63人
			共助の取組みや自主的な支援活動の推進とネットワーク形成の支援 子育て活動団体等への助成 子育て活動団体、自主保育団体 子育て利用券の活用 子ども・子育てつなぐプロジェクト	助成6団体、助成2団体 登録数43サービス 参加73団体
6-(2) 社会環境の整備	子育てしやすいまちづくり 子育て世帯向け区営・区立住宅の供給 バス交通サービスの充実 鉄道駅バリアフリー施設整備の推進 歩道設置(新設・改良)	供給戸数:7戸/年 コロナ禍におけるコミュニティバスの便数維持等の調整 ホームドア設置補助(小田急線下北沢駅・京王井の頭線下北沢駅) 歩道の新設改良工事 1,100m		
	子どもの安全・安心 こどもをまもろう110番 危険回避プログラム実施数向上 妊産婦、乳幼児のための災害への備えの周知の実施 地域保育ネットで把握している危険箇所と道路管理者等が実施した対策を共有、課題整理を踏まえたキッズゾーンのあり方検討 福祉避難所(母子)の開設・運営に向けた取組み	協力者7,967人 冊子「初めてのいってきます!」の改訂・配布、教材DVDをインターネット配信実施:120施設 妊産婦、乳幼児のための災害への備えリーフレットの配付 ・近隣の保育園間での危険箇所の情報共有 ・課題整理 全体版マニュアルの改善としてアクションカード作成、映像資料の製作、物品の備蓄		

「世田谷区子ども計画（第2期）後期計画」進行状況一覧

大項目	中項目	小項目	令和2年度計画	令和2年度実績	
6	子どもが育つ環境整備	子どもを子育てしやすい環境の整備	特定不妊治療費助成の実施	1,455件	
			子どもの医療費助成	114,420人/年	
			私立幼稚園保護者補助金	9,523人	
			幼児教育・保育の無償化等による認可外保育施設等保育料の負担軽減	2,672人	
		6-(3) 子どもの権利擁護・意識の醸成	子どもの権利への意識の醸成、子どもの権利学習の推進	子どもの権利学習の推進	講師派遣(1件)
				リーフレット配布による子ども条例の周知	すべての区立小中学校の小1保護者7105部、小4児童6822部、中1生徒4090部パンフレットを配布
				母子手帳による子どもの権利条約の周知	母子手帳の交付数 7,518件 その他(再交付等) 187件
			子どもの権利を守る仕組みの強化と体制の充実	せたホットの周知	(5月、9月(カードのみ)) 参加見送り(新型コロナウイルスのため)区ホームページで子どもや保護者に向けたメッセージを発信
				リーフレットやカードの配布 イベントの機会を利用した周知	一時保護所第三者委員による子どもの聴き取り38件(延べ14人) 被措置児童等虐待対応通告1件(虐待非該当)
				一時保護所、児童養護施設等における子どもの権利擁護の仕組みの運用と検討	新規件数 208件 総活動回数 1,599回
7	若者計画	7-(1) 若者の交流と活動の推進	若者の交流と活動の場の充実	池之上青少年交流センター、野毛青少年交流センター、希望丘青少年交流センターの運営 3青少年交流センターの連携を強化	
			地域とつながり・連携強化(地域懇談会、協議会)	地域懇談会:2回 協議会:2回	
			若者支援施設のスタッフのユースワークスキル向上に向けた取組み	研修によるOFFJT、現場でのOJTを通してユースワークスキルの向上を図った	
			身近な居場所事業(あいりす・たからばこ)	身近な居場所事業(あいりす・たからばこ) 他機関との連携 3機関	
		7-(2) 生きづらさを抱えた若者の支援	青少年交流センターと児童館の連携	ユースリーダー事業	106事業
				青少年交流センターと児童館職員間の交流の充実	青少年交流センターと児童館で活動する中高生世代同士の交流の機会を創出
				児童館と青少年交流センター職員の情報交換の機会の実施	児童館職員研修に青少年交流センター職員が聴講生として受講 中高生支援館連絡会および中高生支援担当者全体会にて青少年交流センター職員と情報交換を行った
			支援につながりやすい仕組みづくり	メルクマルせたがやのアウトリーチによる相談支援の充実	訪問相談 94件 出張相談 55件 個別ケース検討会 23件
				登録せずとも利用できる居場所、メルサボの運営	15回実施 延べ132名参加
				メルクマルせたがやのサテライト機能の充実	希望丘青少年交流センター 9回 延べ17人 総合支所 25回 延べ38人
多機関で連携した支援	家族会、出張セミナーの実施	13回実施 229名参加			
	相談の場におけるアセスメント機能の充実	ぶらっとホーム世田谷と連携した相談・支援体制の検討			
	教育機関と連携したティーンズサポート事業の実施	10代延べ相談件数 425件			
	家族会、当事者会への支援	補助制度を活用した、家族会による講演会開催1回 58名参加			
7-(3) 若者が地域で力を発揮できる環境づくり	地域での若者の参加・参画の推進	子ども・青少年協議会モデル事業の実施・検証	子ども・青少年協議会モデル事業の実施・検証		
		青少年交流センター若者運営委員会	青少年交流センター若者運営委員会 12回		
		子ども・青少年協議会への若者の登用	子ども・青少年協議会への若者の登用 3名		
	若者の活動を支えるネットワークの強化	若者応援団体の把握、リスト本の作成、配布	施策事業の本質の見直しの結果、令和2年度作成せず		
		若者支援シンポジウムの開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止		
		地域の支援者や支援団体の連携促進	若者支援ネットワーク交流会を民間団体と共催で実施 2回(オンライン)		
7-(4) 若者の社会に向けた文化・情報の発信への支援	若者の主体的な活動、参加・参画の機会を広げるための支援	「情熱せたがや、始めました。」において、若者目線による魅力ある情報発信を継続することにより、発信側・受け手側も主体的活動が行えるよう支援	配信回数:581回		
		「情熱せたがや、始めました。」において、若者が取材等の活動を主体的に取り組むことにより若者の地域活動への参加・参画を支援	区内イベント等への取材、参加を通して地域活動への参加・参画を行った		
	安定・継続した情報発信の仕組みづくり	情報共有、研修会、勉強会を通じた、「情熱せたがや、始めました。」メンバーの質の向上	メンバーへ全体会での情報共有、研修会、勉強会を実施		
		区内大学との連携やSNS等を通じた、「情熱せたがや、始めました。」の効果的なPR	区内大学のゼミへの参加やSNS、HPを通じたPRを実施		